事業者向け　放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			十分なスペースが確保できていると思います。
	2	職員の配置数は適切であるか	7			適切な職員配置ができていると思います。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			7	手すりや玄関のスロープは整備されていません。利用者の必要に応じて整備したいと思います。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	5		日々のミーティングで業務の振り返りと今後の方針等について話し合いを行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			評価表の結果を踏まえて改善事項を職員と話し合っています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			ホームページにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7			療育コンサルタントと契約しており、月に1回、療育の様子を見て頂き改善点や疑問点についてアドバイスを頂き質の高い療育を目指しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			各種勉強会や研修に積極的に参加してもらっています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			保護者と面談し、子供の状況や保護者様のニーズを分析して計画を作っています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			アセスメントは統一したアセスメント様式を使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			ミーティングにて活動プログラムの立案を行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			子供の特性や年齢に合わせて行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			長期休暇時には、放課後では取り組むことが難しい活動をプログラムに取り入れています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			子供の状況を把握して適切な個別活動と集団活動を設定しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			事前に打ち合わせを行いホワイトボードに書込み インターネット上でも管理・閲覧できる掲示板ですぐ確認できるようにしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			支援終了後に出勤している職員で振り返りを行い、成功例や改善事項の共有を行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			支援後すぐにデジタル化された記録を入力しています。 活動の写真も添付し様子が分かりやすいように配慮しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			定期的にモニタリングを行ってサービス計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	7			日々、基本活動を複数組み合わせたプログラムを組み、単調な支援にならないようにしています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			児童発達支援管理責任者が参加しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			必要に応じて学校との情報共有・連絡調整を行っています。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			7	現在までに医療的ケアが必要な子供の受け入れ実績はないが、医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合には主治医と連絡が取れるような体制を整えて対応します。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7			必要に応じて情報共有をしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7			障害福祉サービス事業所等への移行実績はまだありませんが、今後必要に応じて情報提供を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7			子どもが複数の事業所を利用している場合には、情報の共有を行っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7			しあわせたしざんで企画したイベントに地域のお子様やご家族様などを呼んで交流をしています。また、地域のイベントや子ども食堂・児童館などを利用して交流の場が持てるようにしています。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	7			管理者が参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			電話やメッセージアプリで保護者様と連絡を取り合っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか	7			必要に応じて支援を行っていきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			契約時に書面と口頭により丁寧に説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			保護者様からの相談等には対面・電話・メッセージアプリなどにより対応しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7			父母の会を定期的に開催して保護者同士のつながりができる環境を提供しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			苦情に対する窓口を設け、契約時に保護者に説明しています。苦情があった場合には迅速に対応し解決することを徹底しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			メッセージアプリ・SNSなどを通じて発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	7			個人情報には十分注意している。職員入社時は秘密保持の契約書にサインをもらっています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			視覚支援で分かりやすくお伝えできるようにしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7			イベント開催時には地域住民の方にも招待状を配り地域に開かれた場所を目指しています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			各マニュアルを策定し契約時に保護者様に周知しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			避難訓練をすべての利用者に対して年2回以上参加できるように行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			虐待防止の研修を定期的に受けています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			身体拘束を行う際には保護者に必要性などを説明し、事前に同意を得る。身体拘束を行った際には記録に残すようにしています。（身体拘束の実績はまだありません。）
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7			初回のアセスメント時に保護者より聞き取りを行い職員間で共有しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			ヒヤリハット報告書を作成しヒヤリハットが起こった時には職員ミーティングを行い情報の共有や改善策などを話し合います。